

## 次期長期総合計画(SDGs推進計画)素案って何?

### 第28回 市民まちづくり連続講座 in 明石 4/24(土)は市の“出前講座”

向こう10年間の明石市のまちづくりと市政についての長期計画を定める「明石市第6次長期総合計画」の策定作業が行われています。国連が2030年を期限とする共通国際目標「持続可能な開発のための2030年アジェンダ」(SDGs)を冠にかぶせた「あかしSDGs推進計画」(仮称)として昨年2月に審議会を発足させましたが、同3月に予定した第2回審議会がコロナで中止した後、審議会は開かれていません。

この間市は、審議会委員の意見を書面で聴取しながら昨年12月には「骨子案」を発表し、市民の意見を3月末まで公募すると並行して「計画素案」をまとめて3月11日の市議会特別委員会に報告しました。当初の策定期間を1年延ばし2022年3月へ1年先送りしましたが、これまで市民参画の手順や審議内容の開示がないまま、7月には「素案」を決定し、9~10月に市民説明会を開いてパブコメを実施後、来年3月には策定する予定です。

異例の策定プロセスで進み中で、市はどのような長期総合計画をつくらうとしているのか? 3月に公表された「計画素案」の中身について、担当の市政策局SDGs推進室から出前講座として説明を聞きます。

### 第28回 市民まちづくり連続講座 in 明石

日時 2021年4月24日(土) 午後1時30分~4時30分

会場 ウィズあかし8階 市民活動支援センター・フリースペース(アスピア明石8階)

テーマ 次期長期総合計画(SDGs推進計画)をどう共有するか?

3月11日に報告された「素案」について市政策局から説明を聞き、意見交換します

※事前申し込みは不要。どなたでも参加できます。当日会場にお越しください。

公表された「計画素案」の中で、2030年度の数値目標として①住みやすいと思う人の割合を100% ②総人口30万人を挙げています。「住みやすいと思う人」の割合は多分に心象的な数値で、2019年度のアンケート調査で「住み続けたいと思う人」81.7%との関係も定かではなく、議論を呼びそうです。

総人口の目標は現時点で推計人口がすでに30万人に達していると言われていたのですが、全国的にも本格的な人口縮小時代に入り、国の推計では26万人程度の推計がある中で、今後10年間も現在の人口水準を維持していく計画目標になっています。市は転入人口の増加を図り目標を維持するとしていますが、人口減少時代に議論を呼びそうです。

また、ごみの排出量の削減目標を15%としていることや、まだ数値を出すに至っていない温室効果ガス排出量の削減目標などの環境政策は、SDGsを前面に謳う計画だけに、目標数値の妥当性とその実現方策についても厳しい目が向けられるのは必至と見られます。

### 市民まちづくり連続講座 in 明石 2021年の講座開催計画

回	日時	テーマと内容	会場
29	5月22日(土)	まちの緑を考えるーSDGs推進と工場緑地面積率の緩和	ウィズあかし8階フリースペース
	6月19日(土)	トークサロン「草の根の市民自治を掘り起こそう」(&総会)	ウィズあかし8階フリースペース

※今後のコロナ感染の進展状況により、開催日程の変更があるかもしれませんので、ご注意ください。

# 新庁舎の基本設計、策定先送りの裏ワザ？

## 市民説明会は新年度にあらためて開催へ 設計見直しも

明石市の新庁舎建設計画は3月で基本設計の策定に進むと見られていたのが、土壇場で新年度以降へ先送りになりました。国の財政支援措置である「市町村役場機能緊急保全事業」の適用期限が「2020年度末に基本設計が策定され、実施設計の発注が行われていること」とされていたのが、昨年8月25日に基本設計と実施設計の一括委託が締結済みであることから、すでに適用要件を満たしているという解釈が県との折衝の中で判明したと報告されました。市の説明では、大阪府の岸和田市も同様の事例があるとしています。

## コロナ緊急事態宣言で中止になった市民説明会など「市民参画機会も十分確保」

3月11日に開かれた市議会特別委員会で、市は今後①基本設計の平面フロー構成②駐車場の配置や立体駐車場の高さ一などについても、パブコメでの市民意見を踏まえ、検討を進めると説明しました。窓口部門のあり方やICT機器の導入など、機能や設備についても検討を進めるとしています。

また、パブコメで「市民説明会など適切な市民参画の手順を踏んで計画を進めるべき」との市民意見が出たことから、市民参画の機会を十分確保したうえで基本設計を策定する必要がある」と考えていることを明らかにしました。

### 議会配置で議員からさらなる注文

#### 特別委 最上階で吹き抜け議場も

新庁舎特別委員会の審議では、各議員から、国の支援措置の要件が確実にクリアしたかどうかの確認や、今後の市民説明会や「丁寧な市民参画手続き」を取るよう求める意見が出ました。

また、市議会の配置について「市長室などのフロアと市議会が同じフロアに並ぶことの妥当性」についての異論が12月議会に次いで出され、最上階の6階に議会を配置して本会議場を吹き抜けの2層構造に変更するように求める意見も出された。

これに対しては市から「議会のあり方や本会議場などを市民も含めて利活用できることの検討も含めて、今後さらに検討したい」と答弁した。

### 東外港整備と庁舎整備 時期近づく

#### 駐車場の配置や構造にも影響か？

審議の中で市は駐車場の形状や配置に関連して「県が進めている東外港の整備時期と庁舎建設時期が近づいてきたので、庁舎跡地の利用や駐車場の配置などについても併せて検討していきたい」（宮脇副市長）と答えた。

### 新庁舎基本設計（素案）パブコメ結果

明石市が1月末までに公募していたパブリックコメントは14名から延べ74件の意見が寄せられたことが、3月11日の市議会特別委で報告された。

市の報告によると、主な意見は以下の通り。

- ① **災害時の対応力強化**＝浸水時の避難方法や代替施設／津波で浸水した際の市役所までのアクセス／明石駅前中心市街地が水没した際の対応  
◆市の考え方＝地盤のかさ上げ。防災センター（消防局）やあかし保健所などを代替施設とするBCP計画に基づき対応する
- ② **立体駐車場**＝5階建ては海峡景観を損ねる／本庁舎の海辺景観を遮るので、平面利用を  
◆立体駐車場の低層化や平面化の可能性について検討する
- ③ **議場の市民利用**＝本会議場ロビーを展望テラスとして活用／本会議場をコンサートや会議など市民に開放  
◆議会閉会時に議場を市民に開放し、コンサートや講演会など多目的利用できるように検討中
- ④ **環境への配慮とライフサイクルコスト削減**＝ゼロ・エネルギービルとして温室効果ガスゼロに／エネルギー消費量を50%削減し、建築物省エネルギー性能表示制度の認証を得て、補助金交付で市民負担軽減を  
◆環境負荷の低減と補助金取得による市民負担の軽減を計画している。省エネ技術の進歩に合わせて設備機器を更新しやすい配置など将来のエネルギー削減も計画している
- ⑤ **市民参画など計画の進め方**＝市民説明会は市民参画の重要なステップだが、コロナで中止になった。市民参画の手順を踏んで進めるべきだ／国の財政支援措置の確実な活用  
◆市民理解を得られるように、適切な時期、手法により市民参画手続きを行う。市民負担を軽減する措置は確実に活用して進める
- ⑥ **効率的な行政サービスの提供**＝市民センターや駅前窓口の業務分担やICTを活用したコンビニや郵便局との連携システム  
◆窓口部門の在り方やICT機器の導入を検討する